

リフォーム・メンテナンス 技能者育成カリキュラム



■はじめに

建設産業の若年就業者の比率は年々低下しており、建設産業の持続的な発展のためには、将来担い手としての建設技能者の確保・育成が必要となっています。また、新規の建設需要が停滞する中、老朽化したインフラや建築物等の補修補強・維持修繕のマーケットは増加傾向にあり、今後のニーズも増加が見込まれています。新しい分野においては、地球温暖化対策の促進に向けた建造物の省エネルギー化、エコ住宅の新築・リフォームによる対応促進が求められています。

これらを背景に、国土交通省成長戦略（平成22年5月17日）では、老朽化したインフラへの対応等、環境に優しい住宅・建築物整備などに対応した政策を実施することとしました。

そこで、建設産業で成長が期待されるリフォーム・メンテナンス、環境・エネルギー分野を対象に、顧客のニーズに適切に対応し、効果的に工事等を遂行できる技能者の確保と育成を図る必要があります。

本業務では、育成に必要な研修カリキュラムとテキストの作成を行うとともに、これに基づいた実証研修を行い、取り組み分野における人材育成プログラムの構築を目的として成果を取りまとめました。これらの取り組みの成果が、成長分野における人材確保と建設産業の発展に寄与し、新たな事業機会を促すきっかけとなることを期待しています。

このカリキュラムは、リフォーム・メンテナンス分野の技能者育成カリキュラムをまとめたものです。今後、本カリキュラムが技能者育成の参考となれば幸いです。

マンションリフォームの内装多能工育成

長期研修プログラム

- (1) ねらい
- マンションリフォームの内装工事に分野において、ユーザーの多様性、効率的な施工に対応できる内装多能工を育成する。
 - 内装工事分野における内装多能工としての新たな職種の確立と効率的な施工や差別化による企業経営への貢献に寄与する。
- (2) 到達目標
- 基幹となる専門工種に加え、複数工種の技能に関する知識と実技を習得し、実践現場では新たに修得した工種について、職長の指示に従い施工可能な能力を有する人材となる。
 - 複数工種の実施体験を通して、各工種間の関係や施工順序、段取り、施工への展開が理解でき、実践現場で効率的な運用が可能な人材となる。
 - 対象となるマンションの構造や内装、設備等に関する基礎知識を広く理解し、ユーザーが求めている要求や施工目的に貢献する見識を養う。
- (3) 対象者
- マンションリフォームの内装関連に係る基幹となる専門工種に関し、現場実務経験2年～3年程度を有し、技能レベルは2級技能士程度の能力を有する者。
 - 今後、内装多能工としての意欲があり、モデル的な役割を志向する者。
 - 本プログラムの基本モデルにあつては、天井・壁下地（軽鉄）、ボート仕上げ、天井・壁クロス、床フローリング等の内装に係る専門工種に関する2級技能士程度の実務経験を有する者を対象とする。
 - 対象人員：20名程度／回
- (4) 指導体制
- 指導する講師は、多能工の構成工種ごとに1級技能士及び職業訓練講師等の経験を有する熟練技能者。
 - 実践現場をモデルに、工種ごとに熟練技能者の講師を配置し、実技指導に当たる。
 - 実技指導時には、講師が受講者一人ひとりの実施状況を把握しつつ指導できる単位（6～7名）にグループ編成を行い実施する。
 - 実施状況の評価に伴い追指導を要する場合等を考慮し、柔軟に対応できるような合宿研修体制を基本とする。
- (5) 研修期間
- 研修期間は、4週間（24日間）を基本とする。
- (6) 研修時間
- 研修時間は、192時間とする。



■マンションリフォームの内装多能工育成《長期研修コース》 カリキュラム内容

	教科目	内容	時間
ガイダンス、 研修評価	1. 研修ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・開校式 ・閉校式 ・研修内容のガイダンス 	4
	2. 研修評価	<ul style="list-style-type: none"> ・効果テスト ・受講者アンケート ・講師アンケート（別途個別に実施、時間含まず） ・講師による受講者評価（別途個別に実施、時間含まず） 	4
基礎講座	1. マンションリフォームの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの定義 ・マンションリフォームの可能な範囲と内容 ・企画・設計段階の注意点 ・工事段階の注意点 ・建築基準法 ・マンションリフォームの工程 	4
	2. マンションリフォームの工事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・工事内容 ・工事に関わる職種 ・施工上の課題 ・仮設及び解体と廃棄物の処理 ・各部位のリフォーム 	4
	3. 建築構造と建築設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建造の種類と内容 ・建築設備の種類と内容 	4
	4. 建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の種類と内容 	4
施工実習	1. 鋼製下地実習	<ul style="list-style-type: none"> ・壁下地 ・天井下地 	16
	2. ボード張り実習	<ul style="list-style-type: none"> ・壁ボード張り ・天井ボード張り 	16
	3. クロス張り実習	<ul style="list-style-type: none"> ・天井クロス張り ・壁クロス張り 	16
	4. 床仕上げ実習	<ul style="list-style-type: none"> ・フローリング施工 ・シート張り 	16
	5. 左官施工実習	<ul style="list-style-type: none"> ・珪藻土塗り ・漆喰塗り 	16
	6. タイル施工実習	<ul style="list-style-type: none"> ・壁タイル施工 ・床タイル施工 	16
	7. 塗装実習	<ul style="list-style-type: none"> ・壁塗装 ・天井塗装 	12
	8. 建具実習	<ul style="list-style-type: none"> ・金属製建具 ・木製建具 	12
	9. 給排水衛生設備実習	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内配管 ・衛生機器 	16
	10. 総合実習	<ul style="list-style-type: none"> ・1～9を通して実習 	32

マンションリフォームの内装多能工育成

短期研修プログラム

- (1) ねらい
- マンションリフォームの内装工事に分野において、ユーザーの多様性、効率的な施工に対応できる内装多能工を育成する。
 - 内装工事分野における内装多能工としての新たな職種の確立と効率的な施工や差別化による企業経営への貢献に寄与する。
 - 本短期研修プログラムは、内装多能工の主要工種の連続性を持たせ、技能の熟練度向上を目的として実施する。
- (2) 到達目標
- 基幹となる専門工種に加え、複数工種の技能に関する知識と実技を習得し、実践現場では新たに修得した工種について、職長の指示に従い施工可能な能力を有する人材となる。
 - 複数工種の実施体験を通して、各工種間の関係や施工順序、段取り、施工への展開が理解でき、実践現場で効率的な運用が可能な人材となる。
 - 対象となるマンションの構造や内装、設備等に関する基礎知識を広く理解し、ユーザーが求めている要求や施工目的に貢献する見識を養う。
- (3) 対象者
- マンションリフォームの内装関連に係る基幹となる専門工種に関し、現場実務経験2年～3年程度を有し、技能レベルは2級技能士程度の能力を有する者。
 - 今後、内装多能工としての意欲があり、モデル的な役割を志向する者。
 - 今回の基本モデルにあつては、天井・壁下地（軽鉄）、ボート仕上げ、天井・壁クロス、床フローリング等の内装に係る専門工種に関する2級技能士程度の実務経験を有する者を対象とする。
 - 対象人員：20名程度／回
- (4) 指導体制
- 指導する講師は、多能工の構成工種ごとに1級技能士及び職業訓練講師等の経験を有する熟練技能者。
 - 実践現場をモデルに、工種ごとに熟練技能者の講師を配置し、実技指導に当たる。
 - 実技指導時には、講師が受講者一人ひとりの実施状況を把握しつつ指導できる単位（5名程度）にグループ編成を行い実施する。
 - 実施状況の評価に伴い追指導を要する場合等を考慮し、柔軟に対応できるような合宿研修体制を基本とする。
- (5) 研修期間
- 研修期間は、1週間（6日間）を基本とする。
- (6) 研修時間
- 研修時間は、48時間とする。



■マンションリフォームの内装多能工育成《短期研修コース》 カリキュラム内容

	教科目	内容	時間
前日	研修ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・入校式 ・研修生活オリエンテーション ・研修内容のガイダンス ※申込段階で実務経歴等に関する調査の実施	2
1日目	マンションリフォームの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの定義 ・リフォームの可能な範囲と内容 ・企画、設計段階の注意点 ・工事段階の注意点 ・建築基準法 ・リフォームの工程 	4
	マンションリフォームの工事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・工事内容 ・工事に関わる職種 ・施工上の課題 ・仮設及び解体と廃棄物の処理 ・各部位のリフォーム 	4
2日目	建築構造と建築設備	<ul style="list-style-type: none"> ・構造の種類と内容 ・建築設備の種類と内容 	2
	建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の種類と内容 	2
	内装仕上げ材料の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・壁下地材 ・天井下地材 ・壁仕上材料 ・天井仕上材料 ・壁クロス材料 ・床フローリング材料 	2
	工具使用	<ul style="list-style-type: none"> ・下地用工具 ・ボード用工具 ・クロス用工具 ・フローリング用工具 	2
3日目	鋼製壁下地実習	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所確認 ・材料の検収 ・墨出し ・使用部材の寸法取り ・使用部材の加工 ・上下ランナー取付け ・スタッドの建込み ・振れ止めの取付け ・開口部補強 ・点検、片付け 	4
	鋼製天井下地実習	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所確認 ・材料の検収 ・作業床の設置 ・墨出し ・使用部材の加工 ・つりボルトの取付け ・野縁受けの取付け ・振れ止めの取付け ・野縁の取付け ・天井下地レベル調整 ・開口部補強 ・点検、片付け 	4
4日目	壁ボード実習	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所確認 ・材料の検収 ・ボード加工台 ・墨出し ・ボード加工 ・ボード張り ・点検、片付け 	4
	天井ボード実習	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所確認 ・材料の検収 ・作業床の設置 ・ボード加工台 ・墨出し ・ボード加工 ・ボード貼り ・点検、片付け 	4
5日目	クロス張り実習	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所確認 ・材料の検収 ・下地の確認 ・採寸 ・下地処理 ・張り出し ・裁断 ・糊付け ・たたみ方とオープンタイム ・天井張り付け ・マスキングテープ ・壁面張り付け ・柄合わせ、色合わせ ・継目 ・切断 ・継目の収まり ・仕上げ ・カット切り合せ ・点検、片付け 	6
6日目	フローリング張り実習	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所確認 ・材料の検収 ・下地調整 ・基準線 ・張り込み ・接着剤 ・巾木 ・点検、片付け 	6
	評価検証	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート評価 ・閉校式 	2

マンションの セルフメンテナンスサービス技能者育成

研修プログラム

- (1) ねらい
- マンションセルフメンテナンス分野において、多種・多様なサービスを迅速かつ気軽に提供できるサービス技能者を育成する。
 - マンションメンテナンス分野における新たなビジネスモデルとして捉え、取り組み企業の人材育成に貢献する。
 - 建設産業の新たな成長分野の業種として位置付け、その構築に貢献する。
- (2) 到達目標
- マンションのセルフメンテナンス分野における多種・多様なトラブル事項を対象に、トラブル解消に向けたサービスを提供する人材となる。
 - トラブル解消に必要な基礎的知識や個別トラブル対策技能の実技を習得し、実践現場で対応できる人材となる。
 - セルフメンテナンスのトラブル対応のみならず、日常の対応や専門家への依頼が必要な事項についても相談又はアドバイスが可能な人材となる。
- (3) 対象者
- マンションのセルフメンテナンス分野について、新たに取り組みを検討又は実施している企業で、これに関わる人材としての予定者。
 - 今後、メンテナンス分野で働いてみたいと志向している者。
 - 対象人員：20名程度/回
- (4) 指導体制
- 指導する講師は、多能工の構成工種ごとに1級技能士及び職業訓練講師等の経験を有する熟練技能者。
 - 実践現場をモデルに、工種ごとに熟練技能者の講師を配置し、実技指導に当たる。
 - 実技指導時には、講師が受講者一人ひとりの実施状況を把握しつつ指導できる単位（5人～7人程度）にグループ編成を行い実施する。
 - 実施状況の評価に伴い追指導を要する場合等を考慮すると、柔軟に対応できるような合宿研修体制をとることが望ましい。
- (5) 研修期間
- 研修期間は、3日間とする。
- (6) 研修時間
- 研修時間は、26時間（前日の研修生活ガイダンス2時間を含む）とする。



■マンションのセルフメンテナンスサービス技能者育成コース カリキュラム内容

教科目		内容	時間
1日目	研修ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・入校式 ・研修生活オリエンテーション ・研修日程と研修内容の概要 	1
	住まい空間の構成部位の概要	・マンションのモデルケースにて構成部位を学習	1
	セルフメンテナンスサービスの内容	・構成部位別、トラブル(不具合発生)の内容とそのセルフメンテナンスサービスの内容	3
1日目 2日目 3日目	構成部位別トラブル(不具合発生)対応方法の実習	<p>※開催ごとに下記の内容から組合わせて実施します。1回ごとの開催時間数は15時間程度です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関(玄関建具を含む) ・床 ・壁 ・建具(サッシ、木製建具、襖、障子) ・収納 ・キッチン設備 ・トイレ設備 ・洗面化粧台 ・バスルーム ・電気設備 ・ガス設備 ・給水、給湯、排水設備 ・換気空調設備 ・その他設備 	15 (1日目:3H) (2日目:8H) (3日目:4H)
3日目	総合演習	<p>※開催ごとに内容の組合わせを行い、総合演習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合演習 	3
	評価検証	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート評価 ・閉校式 	1





リフォーム・メンテナンス技能者育成カリキュラム

平成 24 年 3 月 発行

企 画 国土交通省
編 集 建設技能労働者の成長分野への対応促進に関する
リフォーム・メンテナンス分野検討委員会
発 行 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会
富士教育訓練センター
T E L : 0544-52-0968 F A X : 0544-52-1336
U R L : <http://www.fuji-kkc.ac.jp/>